

令和 8 年度 第 1 回学校運営協議会 議事録（要旨）

1 開催日時

令和 8 年 4 月 27 日（月） 10:00～11:00

2 会場

高田高校会議室

3 出席者

学校運営協議会委員 10 名（うちオンラインによる出席者 2 名）

4 概要

開会、校長挨拶の後、千葉武徳副校長から学校運営実績、学校評価の結果、学校経営計画、について説明を行った。それぞれの説明後に質疑・応答、次回の運営協議会について説明を行って閉会した。

5 質疑・応答

【令和 7 年度における学校運営実績、学校評価の結果に関する質疑・応答】

○委員

学校経営計画に係る達成指標の達成状況についてですが、「いじめや嫌がらせが無く、落ち着いた学校生活を送っている」の項目だけ 84%と達成指標（90%）に達していないが、学校としてどう捉えているのか。

○校長【回答】

この項目は令和 6 年度に引き続き達成できていない。令和 7 年度はその反省を踏まえて、いじめ事案に丁寧に対応してきた。今年度も引き続き組織的にいじめ事案に対応していきたい。

○委員

同じく海洋システム科の活性化の項目では、100%という回答があったことから、令和 10 年度から募集停止はするのは残念である。

○委員

3 月 11 日に高田松原復興祈念公園で光ノ導という紙袋ランタンを作成して会場に設置するというイベントを行ったが、ボランティアの案内を直前にお願いしたにもかかわらず、積極的に活動していただき感謝申し上げる。

○委員

女子バレーボール部をはじめ部活動の実績が素晴らしいが、指導体制はどうなっているのか。

また、ホームページでの活動実績の閲覧方式を部活動ごとにしたほうが見やすいのではないか。

○校長【回答】

指導体制の件は教員だけではなく、外部コーチもお願いしている。地域の方々支えが必要である。

ホームページに関しては閲覧内容を検討したいが、ホームページの運用も職員が行っており職員の負担が増えないように見やすい内容にしていきたい。note を活用して部活動を含めて学校生活の情報発信をしている。そちらもご覧いただければありがたい。

【令和 8 年度学校経営計画に関する質疑・応答】

○委員

令和 7 年度は不適切な指導や職員の不祥事が頻発したが、高田高校としての取り組みはあるのか。

○校長【回答】

職員によるコンプライアンスの取り組みとして、毎週金曜日の朝会でコンプライアンスに係るスピーチを行っている。他校では月に 1 回のところ、本校では週に 1 回取り組んでいる。

○委員

目指す学校像の取組方針のいじめのところですが、その対策について 3 つの項目が挙がっていますが、いじめを受けた時に相談できる体制が必要だと思うが、「学校いじめ対策組織」にはそういったものが含まれているのか。

○校長【回答】

県内統一して、情報端末から相談できる体制をとっている。ただ実際は保健室に相談する形が一番多い。いじめの未然防止策として、1、2 年生を対象に「人とのつながりワーク」というグループエンカウンターを実施している。

【特色ある教育活動に関する質疑・応答】

○委員

大船渡から高田高校を選んでいる生徒数はどれくらいなのか。高田高校は大学進学に向けて勉強するというイメージはあまりなく、部活動もやりたいという生徒が高田高校を選んで進学している。特に野球とバレーはその傾向が強い。

○校長【回答】

入学生の 3 割程度が大船渡からの生徒だったように思う。それと、今年度の入学生の特徴として、住田町の生徒が多かった。陸前高田市内の生徒は 49% と半分を切ってしまった。

【その他での質疑・応答】

○委員

昨年度からコーディネーターとして高田高校と関わりを持たせていただいているが、何かもっとサポートしてほしいことがあれば教えていただきたい。

○校長【回答】

女子バレーの関係ですが、県内の遠隔地から本校に来ている生徒がいる。現在は一人暮らしをする形しかなく、自治体が受け皿の体制を整えていただけると助かる。